

令和8年（2026年）度 年間授業計画（シラバス）									
学年	2	学科	全学科	単位	2	教科	数学	科目	数学 I
学習教材	<ul style="list-style-type: none"> ・数学 I Progress (実教出版) ・Prominence 数学 I +A (実教出版) 								
学習目標	図形と計量、集合と論証およびデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。								
単元と学習内容									
1 学期	図形と計量 ・ 三角比 ・ 三角比と図形の計量			<ul style="list-style-type: none"> ・ 直角三角形において、三角比の定義を理解し、正弦・余弦・正接を求める。 ・ 正弦定理や余弦定理を用いて、三角形の辺の長さや角の大きさを求める。 					
2 学期	データの分析 ・ データの分析			<ul style="list-style-type: none"> ・ データを度数分布表に整理する。また、平均値や中央値、最頻値などの定義や意味を理解し、それらを求める。 					
3 学期	集合と論証 ・ 集合と論証			<ul style="list-style-type: none"> ・ 集合を視覚的に表現して処理することができる。 					
評 価									
評価の観点		到達度目標 [「B」(おおむね満足できる)の規 準]				評価のフィードバック			
						1 期末	2 期末	学年末	
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数学における基本的な概念や原理・法則などを体系的に理解している。 ・ 事象を数学化したり、数学的に解釈したり表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。 				○	○	○	
②	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。 				○	○	○	
③	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 ・ 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしたりしている。 				○	○	○	
評価方法	①			②			③		
	㊦定期考査 ①副教材 ㊧グループワーク等			㊦定期考査 ①副教材 ㊧グループワーク等			㊦副教材 ①グループワーク		